

# みつくら

令和 5年11月15日 第398号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 歌声が響いた賢治葛丸祭

石鳥谷賢治の会主催の第28回賢治葛丸祭は、10月9日雨のため大瀬川構造改善センターで30人が参加して開かれた。主催者として村松総会長代行が「宮澤賢治を顕彰するこの賢治葛丸祭は28回を数えました。当会としては賢治三月祭、賢治やまなし祭、それにこの賢治葛丸祭を三大祭として毎年継続しております」と挨拶した。上田花巻市長（鈴森早織代理出席）は「内外でいろんな事が起きていますが、賢治さんはどう思っているのでしょうか。こうした宮澤賢治顕彰を続けられておられる事に敬意を表しています」と祝辞を述べた。続いて、佐々木順一県議と熊谷秀夫大瀬川活性化会議会長の祝辞の後に春日流八幡鹿踊りが披露され、石鳥谷吟詠会の吟詠が詠われた。

町内6校の児童生徒や学生からはそれぞれ「賢治さんへの手紙」が届けられ、会員の代読で披露となった。恒例の「歌の広場」では「エコーくずまる」の板垣福子さん、畠山庄子さん、菅原祐子さん、菅原佳子さん、板垣禮子さん、板垣征子さん、菅原美津子さん達の歌声が館内に響いていた。

## 畠山さんの孫が国体で輝かしい活躍

長兵衛治家の畠山スミさんの孫、小原乃亜さんは鹿児島国体自転車競技の2種目で優勝と準優勝を飾った。特に優勝した翌日の岩手日報には第1面、スポーツ面、社会面の何れもトップニュースとして大きく伝えた。小原さんは北上市にお住まいでお母さんの和恵さんは(有)畠山造園土木に勤務している。

小原さんは自転車競技を目指して紫波高校に進学し、一時は自宅(北上市相去)から紫波高校まで自転車通勤したほど努力した方だそう。高校時代から注目された選手で、2年生の時には茨城国体に出場し女子ケイリン1回戦で5位。3年生の時にはジュニアオリンピック自転車競技女子ケイリンで優勝している。その後、八戸学院大学健康医療学部人間健康学科に進学してからの活躍はめざましく、2年生の昨年は第77回全日本大学対抗選手権自転車競技大会女子スプリ

ント優勝。また、第77回全日本大学対抗選手権自転車競技大会女子スプリントにも優勝し、同年に北上市芸術文化功労賞を受賞している。

大学3年生となった今年は、7月の第78回全日本学生選手権トラック自転車競技大会500mタイムトライアルで優勝し、同女子スプリントでも優勝と2種目で優勝している。8月には第78回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(インカレ)女子500mタイムトライアルで2位に入賞し、10月には鹿児島国体自転車女子チームスプリント(二人で組んで走る競技)で優勝し、同国体の女子ケイリンでも準優勝の輝かしい成果を挙げ、11月3日の岩手日報体育賞を受賞している。

大瀬川関係者で国体に出場した選手は、昭和59年の第39回国体に宇南木竈家の菊池真由美(旧姓熊谷・体操)さんが奈良国体に出場していて、他に野子家の辻村雅也さんが社会人になってからアイスホッケーで国体に出場している。

## 市民芸術祭に大瀬川からも多数出展

10月14日から3日間にわたって開かれた花巻市民芸術祭石鳥谷会場では、大瀬川からも多数出展された。

展示部門は、書道ではおなじみの熊谷静香さんが「傳山・臨書」と題して出品。漢文の意味が分からなかったので調べたなら、「傳山(ふざん)」とは1600年代の中国の書家までは分かったが、漢文の意味までは分からなかった。

手芸部門では「一糸(ひといと)」の会員である熊谷満子さんの手提げバックが展示されていた。また、「石鳥谷はたおり同好会」はどの作品も作者の氏名がなくグループとしての展示であったが、大瀬川の会員も複数いる。

石鳥谷保育園の絵画では菅原眸玖さん(むく・野中家)、熊谷結衣さん(ゆい・木ノ宮家)、畠山楓さん(かえで・下西海地家)。石鳥谷小学校から絵画では菅原時生さん(ときお・赤坂竈家)、熊谷心々さん(ここ・田屋家)、熊谷光さん(ひかる・木ノ宮家)、板垣陽翔さん(はると・高田竈家)、板垣美月さん(みつき・たばこ屋)、同書写では熊谷陽麻梨さん(ひまり・萬之助竈家)、菅原瑠生さん(るい・新山家)、菅原瑠香さん(るか・新山家)の名が見受けられた。中学生の「毛筆・書写の部」では大瀬川関係では玉山優奈さん(ゆうな・パーマ屋)、畠山ひよ里さん(ひよ里)が出展していた。

他に、福祉施設からも出展があり、イーハトーブぬくもりからは板垣順子さん(鴨屋敷家)と菅原文子さん(茶畑家)の塗り絵が出品されていた。毎年、福祉施設の中に千鳥苑入所者の作品があったものだが、今年は見当たらなかった。

音楽部門に出演された菅原佳さんは、出演したサークル名は「いしどりや学園唱歌クラブ&歌声の仲間たち」で野菊、朝はどこから、瀬戸の花嫁、青い山脈の4曲を披露した。

## 写真クラブが東北現展を鑑賞

大瀬川写真クラブの5名は、10月17日に岩手教育会館で現代美術家協会東北支部主催の第8回東北現展を鑑賞した。

参加者は熊谷律夫さん、熊谷レイ子さん、熊谷政男さん、熊谷幸子さん、菅原得之さん。この現代美術家協会東北支部には板垣弘清さんも会員で、「氷上のワルツ」と題した写真も出展していた。この写真は、遠野市の足ヶ瀬ダム(早瀬川)の冬景色を撮ったもので、珍しい形の樹氷と湖面に張った帯状の氷を写したもの。参加者は板垣さんから撮影に関しての構図や思いなどの解説をしていただいた。

板垣さんには他の方々の写真や絵画、オブジェなど28点の解説もお世話になったので有意義なひと時であった。何の鑑賞も同じであるが、解説者がいるのといないのでは鑑賞の楽しみも大いに違う。

## 大瀬川でも熊の出没が相次ぐ

10月22日の午後5時半過ぎ、9区の畠山松五郎さんは熊に襲われ右側の頭部に重傷を負った。報道によると、現場は自宅から15m程南側で、畠山さんは柿の木に熊除けのライトを付けようとした時に襲われ、医大の高次救急センターに運ばれた。

大瀬川で熊に襲われて怪我をしたのは、昭和40年に畑部落の藤原與右衛門さん(畑竈家)が、鍵取(地名)で山仕事に襲われ怪我をしている。他には、平成5年の9月に高橋英吉さん(上野家)が自宅裏の畑(9区公民館前)で農作業中に熊に襲われ、頭や胸に怪我をして宝陽病院に1週間入院したのがある。高橋英吉さんが襲われたその時に一緒に働いていた奥さんの高橋タカさんは、持っていた鋤の「カンデ」で熊の目を叩き、熊を退散させたという。それらを含めて熊による怪我者は3件目となる。

大瀬川では今年、10月に入ってから頻繁に熊が出没し、5日の朝には上野々家の直ぐ北側にある栗の実(2本分)が食べられた。10月22日には今回の畠山さんの件があり、10月24日の17時には菅原三郎(田中竈家)さん宅の柿の木に登って熊が柿を食べるのを見た菅原美紀子さんが警察に通報し、市では爆竹を鳴らして熊を追い払っている。更には、10月25日の10時頃には金鑄神(菅原浩孝さん宅)付近に熊が出没、翌日の26日7時頃には菅原照子さん宅近くの木に熊が登っていたという。また、同じ26日の午前11時30分には尾平の亀家所有の栗の木に親熊と子熊2頭いるのを菅原照子さんが目撃している。そして、10月27日の9時頃には、菅原銀一さん宅の南の田にも熊が出没、北に向かって逃げ上堰水路沿いに西に向かって見えなくなった。花巻市石鳥谷総合支所では連日、何回も住人に警戒するように広報車で呼びかけた。連日各地で熊による被害が発生している。今後も充分注意しなければならない。

## 表彰(敬称略)

県警本部長優良運転者表彰 板垣生栄さん(10月6日)  
 県老人クラブ連合会長表彰 大瀬川中央長寿会  
 (5人以上会員加入促進表彰)

# みつくら

令和 5年11月15日 第398号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 男子バレーチーム7連覇達成!

去る10月22日、石鳥谷体育館で第5回石鳥谷9人制バレーボール大会が開催された。昨年に続き今年度も選手宣誓は菅原崇将さんが行った。

参加チームは4チームで大瀬川チームは、初戦を新堀チームに勝ち決勝戦では好地チームに勝ち優勝した。どの試合も接戦で緊張感があったが、練習を積み重ね本番に挑み7連覇(今回で12回目)することができ、閉会式では関公土会長が接戦で良い試合でしたと講評を述べた。選手の皆さん御苦労さまでした。

出場選手は以下のとおり。(敬称略)

菅原崇将・板垣雄一・板垣春介・板垣圭介・板垣幸規・板垣伸吾・柳原紘樹・藤原 誠・板垣拓海・高橋悠希・菅原 茂

## あじさいの会が表彰される

11月9日に花巻文化会館行われた花巻市社会福祉大会の席上で「あじさいの会(板垣福子会長、会員22名)」が福祉発展に寄与したとして花巻市社会福祉協議会長表彰され、板垣福子さんが壇上で受け取った。

あじさいの会は、8区のボランティア団体として平成9年に石鳥谷町社会福祉協議会が独居老人を対象とした昼食会を開く事業を展開した時に、補助金を交付される団体として組織し、翌年の平成10年に設立している。

初代会長は板垣智恵子さん、2代目会長は菅原美津子さんで、令和2年から板垣福子さんが3代目会長を担っている。

石鳥谷町が花巻市と合併した後に、大瀬川から市社会福祉協議会長表彰を受けたのは、平成19年に菅原昭造さん(中ノ家生まれ。福祉功労)、板垣寛さん(福祉功労)、畠山スミさん(介護11年)、熊谷ハルエさん(介護10年)、平成23年たんぼぼの会(福祉優良団体)、菅原佳子さん(民生児童委員)、平成29年菅原敬子さん(民生児童委員)、平成25年あじさいの会(福祉優良団体)、令和3年熊谷弘子さん(民生児童委員)、畠山義弘さん(民生児童委員)がいる。

## 今年も銀杏のライトアップ開始

大瀬川運動公園の銀杏のライトアップが10月31日から始まった。

平成30年の秋に大瀬川運動公園の銀杏が段々と綺麗に色付いていくのを見て、ライトアップを試みたのが始まり。その後春の桜と合わせ、毎回照明器具の工夫をしながら回を重ねてきた。去年からは県道13号線からも良く見えるように駐車場入口の振興センターの看板を使用して照射している。するとメタセコイヤの木も綺麗に浮かび上がった。県道13号線は車の通行量も比較的多い。日中の写真撮影をする人も増えてきた。

今では運動公園のシンボルツリーとなっている銀杏は、昭和9年、当時の大瀬川小学校の卒業生が記念樹として現在の場所に植えられたものとされている。一方、メタセコイヤは昭和58年に犬飼町の熊谷正男さんが滋賀県から苗木を取り寄せて植えたもの。

秋のライトアップは11月30日まで予定している。

## 畦畔一斉草刈日当に1100万円

葛丸の農村環境を守る会(板垣幸夫会長、構成員237戸、対象田畑面積378町歩)では、11月5日に「令和5年度畦畔一斉草刈り」の日当を支払った。今年度の畦畔や大排水路の草刈りには、延べ61日間に1316名が出役し、1113万円の日当を支払った。

この草刈り分だけで、国や県、市からの農地維持・共同支払い交付金1770万円(U字溝布設工事は別に交付)の65%を占めている。草刈り以外の残り650万円でその他農地保全一切の活動事業に充てている。板垣会長は「農地の保全に活動している構成員に、出来る限り日当で還元したい」と話している。

## 訃報

○渡里家の菅原サキさんは10月4日に93歳で亡くなりました。菅原さんは渡里家のお生まれで、実家は渡里家と萬藏蔵家の間にありました。兄の菅原繁さんが八郎潟の国営干拓地に昭和42年に入植したことに伴い、翌年に家族を呼び寄せ移転しました。

80代の方々に取材で「菅原さんとの思い出は？」とお聞きしたなら、どなたも「温厚な方で、大きな役には就かなかったけど、脇役として部落を支えた方でしたよ。私達が仕事でも役職でも、何か解らないで困った時には菅原さんに行ってお聞きしたんですよ。すると何でも親切に教えていただきました」と悔やんでおられました。

菅原さんは、かつて「大瀬川若妻会」の草創期を築いた方でもありました。昭和41年に石鳥谷町農協婦人部若妻会が大瀬川若妻会の前身でしたが、初代会長は熊谷寿美(小屋敷家)でした。2年後に正規の大瀬川農協婦人部若妻会が発足した時の中心は菅原さんと板垣三保子さん、菅原恵子さんの三人でした。菅原さんで記録に残っているのはこの時の若妻会副会長さ

んのみである事から「縁の下」で支えられた生涯であったことが窺えます。手先が器用で、手芸や踊りなどでも多くの方々に親しまれました菅原さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○伊助電家の菅原ヨシエさんは、10月26日に96歳で亡くなられました。葬儀で喪主の菅原一弘さんは「生前中は、皆様には大変お世話になりました」と挨拶されました。菅原さんは、紫波郡赤石村下河原(現紫波町桜町下川原)のご出身で日詰実科高等女学校を出られた方でした。ご主人の菅原三郎さんは結婚を機会に昭和32年に伊助家から分家され、当初は馬車引きを家業としていました。

菅原さんは、昭和41年に石鳥谷メリヤス有限会社の創業と同時に冬期間勤務していましたが、その後イズミ電子(株)に数年間務めた後、東京ゴム製作所岩手工場(石鳥谷町北寺林2-21-2)に、杉ノ下家の畠山登さん達と定年まで勤務されました。

菅原さんはその後、晩年まで「たんぼぼの会」に殆ど欠かさず出席していました。「とてもしっかりした方で、話題も豊富なので、菅原さんの周りには自然に人が集まって、私達は沢山教えられました」とタンポポの会の役員達は悔やんでおられました。近所の皆さんに親しまれました菅原さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 編集室こぼれ話

FM花巻のパーソナリティである柳原睦子さんから「花巻で訛りの強い方とCMを作りたい」と録音に誘われた。「わがねじゃ。わがね、わがね」と断ったなら「その『わがねじゃ』のままが良いので是非」に根負けし渋々承知した。

何のCMかと言えば、和同産業の草刈りロボットとのこと。さて困った実物を見ないでCMも無いだろうと収録前日の夕方、菅原黎治さんに電話で「草刈りロボットを見せてください」と頼んだところ、稲刈りの真っ最中であつたが、快く引き受けてくれて和同産業へ向かった。会社へ着くと、5人の方が元上司の菅原さんを迎えてくれた。既に周りはずっかり暗くなっているなかを牧草地の展示場でわざわざナイターで実演してくれた。「なんとびっくり!!!」ロボットには「クロノス」と名前があつて、草刈り中にお腹が空くと食事へと定められた席(充電)へ。食事が終わると別の席へ行つて行儀良くお座り。

さて、物は見えてのいざ収録だ。内容は、夫婦の対話で草刈りをサボった夫が妻に叱られ「だから草刈りロボットを買えば」というもの。数行の台詞(せりふ)であつたが、妻役は柳原睦子さん。台詞は標準語で書かれてあつて、妻役はそのまま標準語。叱られ役だけ標準語の台詞を自分で「ブーブー弁」に変えねばならない。途中で妻役が笑うものだから、夫役も「おがすぐ」なって録音のやりなおし。

このCMは10月中旬から半年間、午後6時の時報直前に流れている。